

地域学校協働本部
あびらコラボセンター
(仮称)

安平町教育委員会事務局
子育て・教育総合専門官
岡崎 工三

設立趣旨

安平町教育委員会では、地域と学校が協働して子どもたちの育成に取り組んでいます。こうした学校内外で行われる子どもたちのための活動を地域学校協働活動といいます。

今までも、教育委員会や自治会、NPO、住民有志等で、個別に活動が進められてきましたが、効果的かつ持続的に活動できるよう、互いにゆるやかにつながりる仕組みをつくっていくことが求められています。これらの仕組みを動かしていくことを担うのが地域学校協働本部です。

また、地域学校協働活動が活発になるためには、活動主体を増やしていく必要もあります。安平町教育委員会では、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、子どもたちの成長を社会全体で支えるとともに、社会教育活動や地域活動を充実を目指す体制づくりを目的に、安平版地域学校協働本部（仮称）「あびらコラボセンター」を立ち上げます。

目的

1. 子どもたちの豊かな学びと成長の支援

「**社会に開かれた教育課程**」の実現：学校教育に地域の多様な人材や資源を取り入れることで、子どもたちに教科書だけでは得られない体験を提供します。

2. 地域力の向上とコミュニティの活性化

「**学校を核にしたまちづくり**」の実現：学校を核として地域住民が集まる機会を作ること、希薄化した地域のつながりを取り戻します。

「**持続可能な社会の創り手**」の育成：子どもたちの教育に関わることで、住民が「自分たちのまちを良くしよう」という意識を持ち、持続可能な社会を創る社会教育活動や地域活動の担い手になれるよう支援します。

3. 学校運営の負担軽減と質の向上

「**教員の働き方改革**」の支援：教職員が担っていた業務の一部を地域が担うことで、先生が子どもと向き合う時間や授業準備の時間を確保できるようにします。

4. 継続的な協力体制の構築

「**コーディネーターの配置**」：学校と地域双方のニーズをつなぐコーディネーター（地域学校協働推進員）を配置し、ボランティアなどの「個人の善意」に頼るだけでなく、組織として活動を継続させる仕組みをつくります。

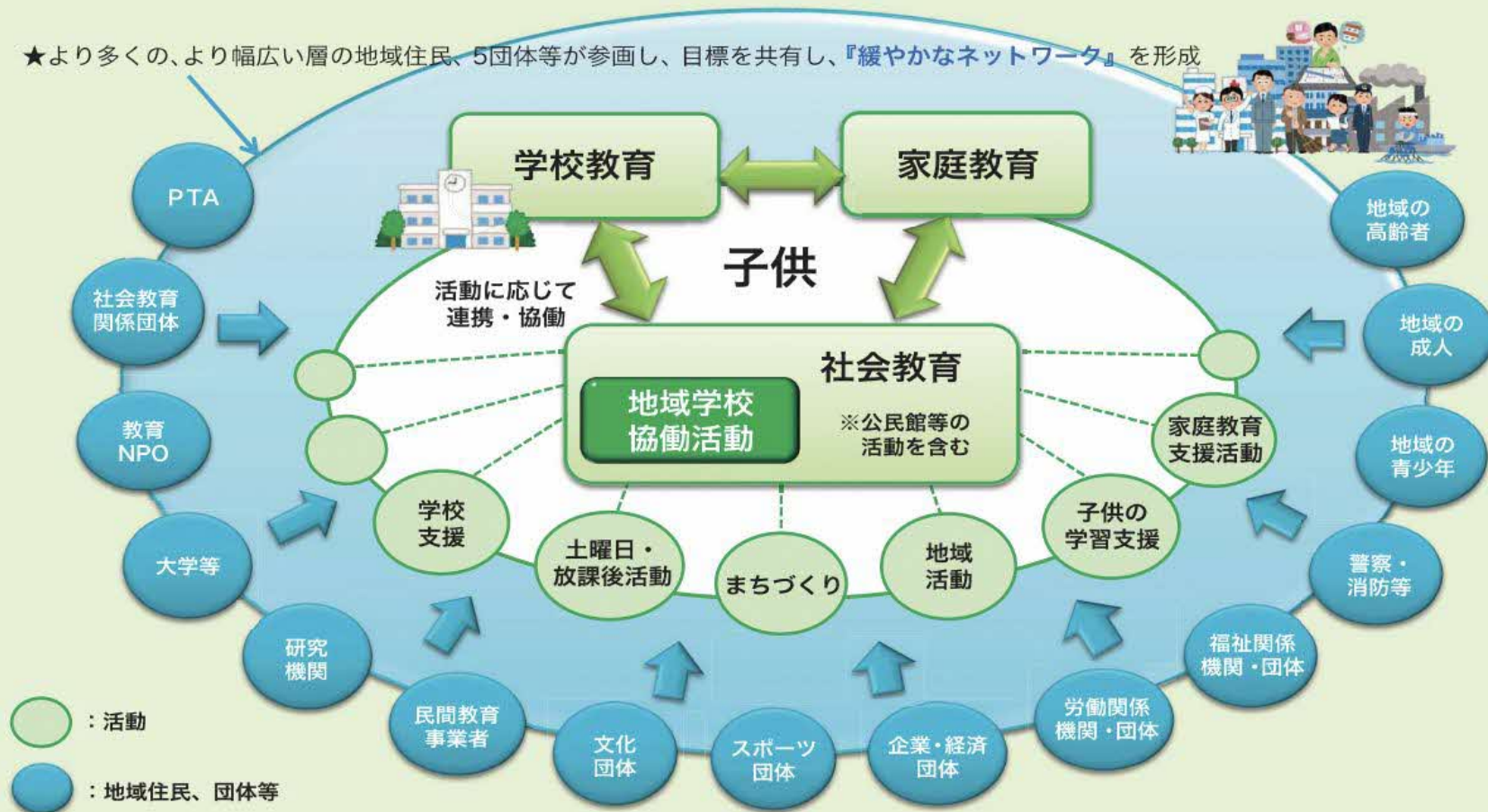
**地域学校協働本部
あびらコラボネットワーク
とは何か？**

文科省が示す地域学校協働活動

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

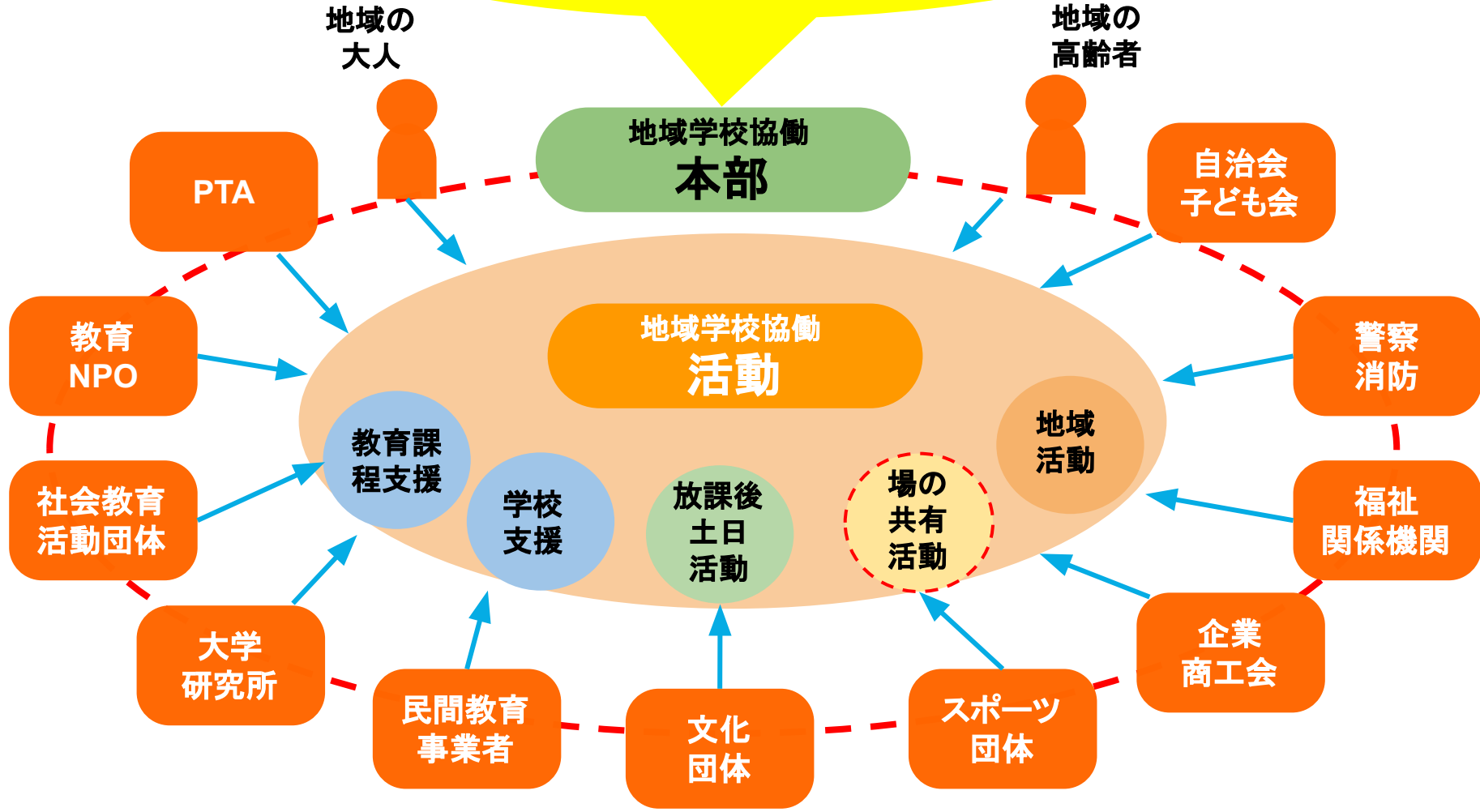
- ◎次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、5団体等が参画し、目標を共有し、『緩やかなネットワーク』を形成

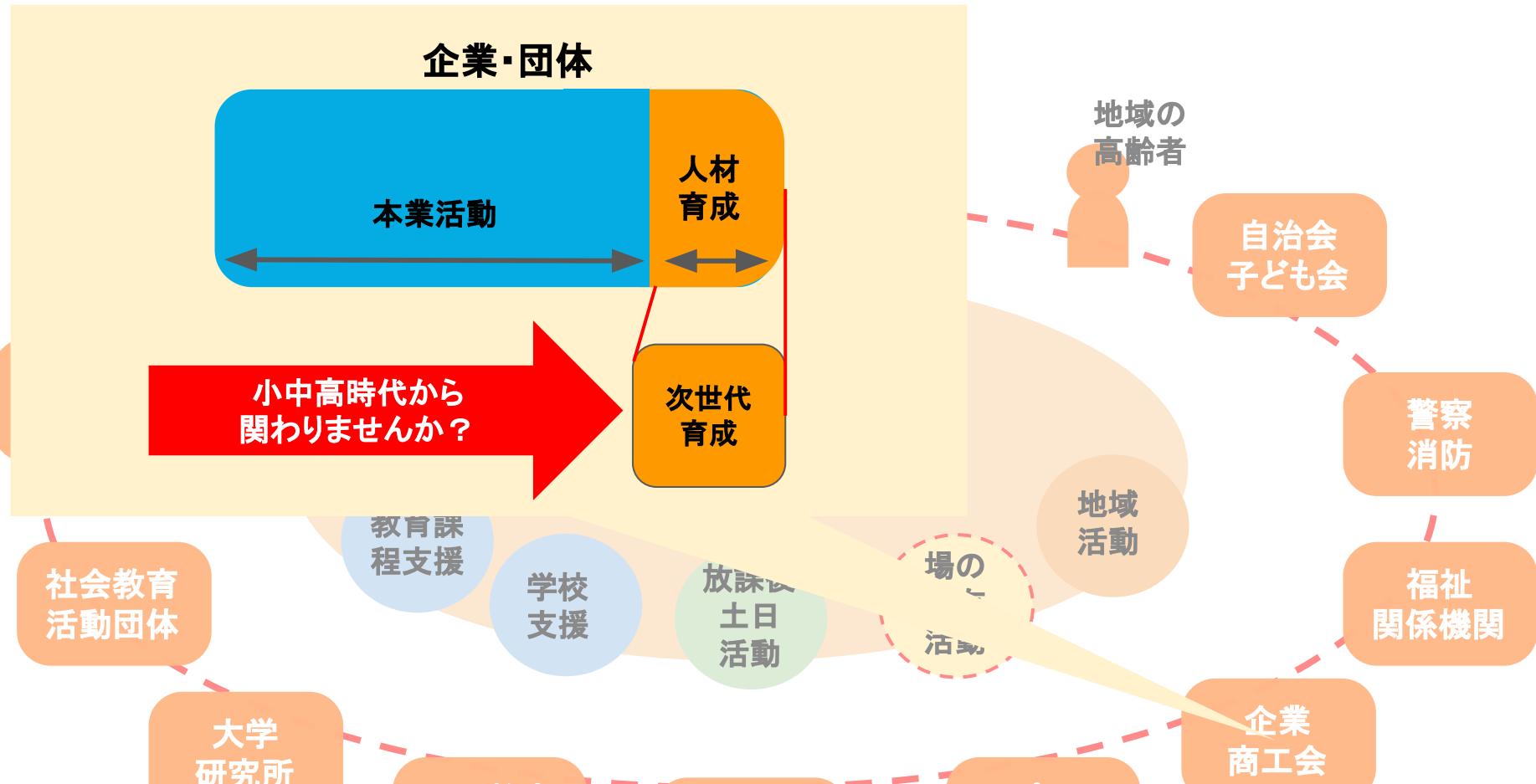


安平町の地域学校協働活動と本部の概念図

子どもたちの育成に
携わってくれている人と団体の
ネットワーク
あびらコラボネットワーク



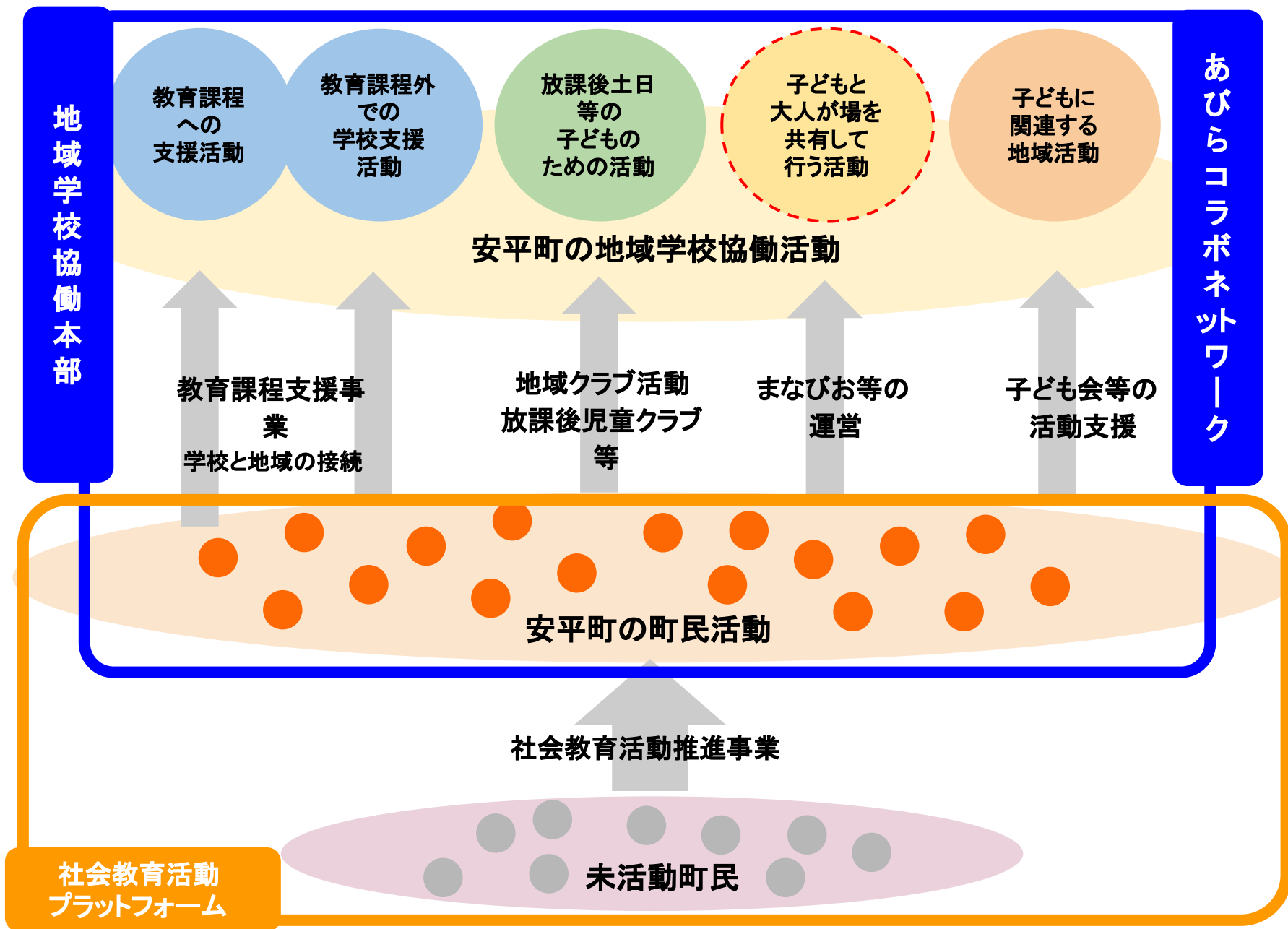
企業が教育に関わる理由



各団体のCSRや子ども支援事業として、
地域学校協働活動に参画することで、地域総ぐるみで
子どもを育てていくことを目指します

安平町における 地域学校協働活動とは？

あびらコラボセンターの活動範疇



仮称)あびらコラボセンター

地域学校協働本部／あびらコラボネットワーク

教育課程
への
支援活動

教育課程外
での
学校支援
活動

放課後土日
等の
子どもの
ための活動

子どもと
大人が場を
共有して
行う活動

子どもに
関連する
地域活動

安平町の地域学校協働活動

教育課程支援事業
学校と地域の接続

地域クラブ活動
放課後児童クラブ
等

まなびお等の
運営

子ども会等の
活動支援

安平町の町民活動

社会教育活動推進事業

社会教育活動
プラットフォーム

未活動町民

R8年度は準備期間

R9年度からスタートします

**あびらコラボネットワーク
へのご参加
お願いいたします！**

アンケートフォーム

<https://forms.gle/JXBUqNfhmt8U7viNA>

